サーバ疎通確認方法：EKH2Aの場合

EKH**2**Aでは付属するリモコンが機器運転情報を取得し、当社クラウドサーバに電送します。

自家消費プラン事業では運転データを取得し活用するために当社の遠隔監視サービス「TABUCHI Cloud」への加入が必須となります。

サーバとの疎通確認方法

① 「TABUCHI Cloud」にログインしていただき、メイン画面内に電力量等の運転情報が表示されていること・・・・・・図1

② 施設情報の表示において申請されたリモコンの製造番号が表示されること・・・・・・図2

注：EKH2Aのリモコン型番はZREM-35ENB03です。

上記が正しく表示されていればサーバとの疎通は完了しています。

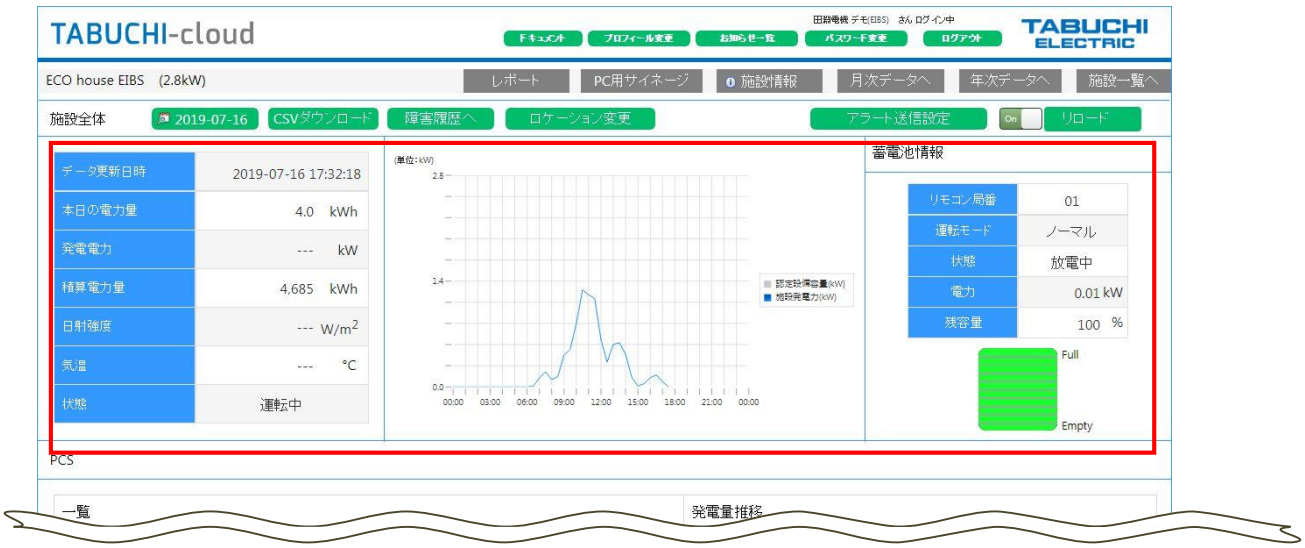

図1: Tabuchi cloudメイン画面

図2: リモコン製造番号(施設情報 施設情報 表示で確認)

Copyright© Tabuchi Electric Co., Ltd. All rights reserved.

サーバ疎通確認方法：EKH3A～EKH3Kの場合

EKH3A～EKH3Kではパワーコンディショナ内部に搭載している通信モジュールが機器運転情報を取得し、当社クラウドサーバに電送します。

自家消費プラン事業では運転データを取得し活用するためにパワーコンディショナをインターネット接続してください。(接続方法は施工会社様にご確認ください)

サーバとの疎通確認方法A(Service Toolを使用する方法：施工会社向け)

データの疎通確認は施工会社がスマートフォンを使って初期設定する際に確認できます。
スマートフォンでService Tool画面(図3)を確認の上、スクリーンショット提出してください。

① Service Toolの運転状態表示画面で、
太陽電池のイラスト部分をタップする。(右図赤枠部)

② PCS情報の画面が表示されたら、通信テストをタップする。

③ 通信テストの実行結果が「OK」になっていればサーバとの疎通は完了しています。
実行結果とPCS機種名・製造番号が表示されている画面のスクリーンショットを提出してください。

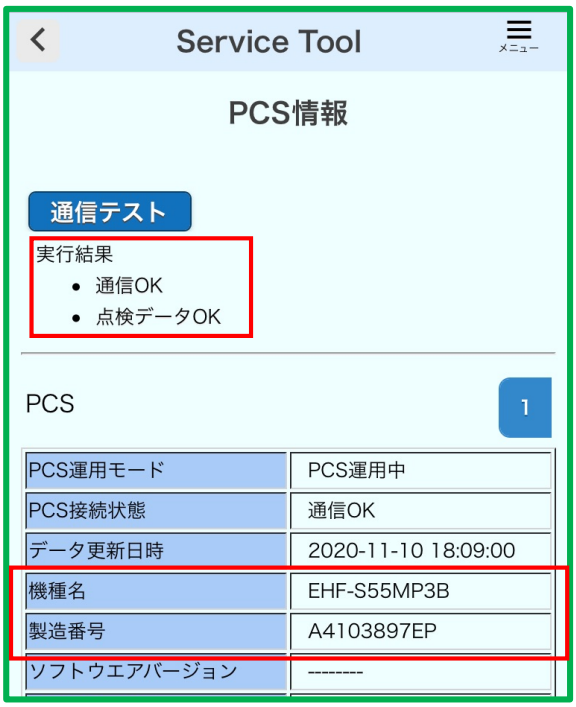

図3: Service Tool画面 (提出対象)

Copyright© Tabuchi Electric Co., Ltd. All rights reserved.

サーバ疎通確認方法：EKH3A～EKH3Kの場合

サーバとの疎通確認方法B(システムモニタを使用する方法：需要家向け)
データの疎通確認は需要家用のスマートフォンアプリ「システムモニタ」でも行うことができます。
以下の手順で確認の上、スマートフォン画面のスクリーンショット(図4,5)を提出してください。

※ 疎通確認方法Aで疎通確認される場合は、こちらの作業は不要です。

① システムモニタ画面右上のメニューから「設定」を開く。

② 『機器情報』を選択すると、パワコン機器名と製造番号が表示(図4)されます。

図4: 機器情報画面 (提出対象)

Copyright© Tabuchi Electric Co., Ltd. All rights reserved.

サーバ疎通確認方法：EKH3A～EKH3Kの場合

サーバとの疎通確認方法B(システムモニタを使用する方法：需要家向け) つづき

③　ネットワーク設定 → 通信テスト の順に選択し、通信テストを行います。
サーバ疎通ができている場合は、実行結果のボックスに「OK」と表示されます。(図5)

図5: 実行結果表示(提出対象)

Copyright© Tabuchi Electric Co., Ltd. All rights reserved.